



白聖

はくあ 第4号 令和5年6月20日発行



【進路行事紹介】

《2学年対象 進路講演会》

5月18日(木)

進路選択と進路志望達成に向けて2年生の意識を高めさせ、今後の高校生活が充実したものとなるよう、外部講師による講演会を実施しました。

【自己実現力】【自己管理能力】

講師：吉井 素子 氏

駿台予備学校お茶の水校3号館

(東大専門校舎) 校舎責任者



《3学年希望者対象

総合型選抜・学校推薦型選抜集会①》

5月19日(金)

令和6年度入試において、総合型選抜・学校推薦型選抜の受験を考えている生徒に対し、試験の方式や種類、準備すべき書類の説明をすることで、具体的に何をいつまでに、どの水準まで取り組むべきかを周知するために実施しました。

【主体性】【自己管理能力】【自己実現力】

(集会に参加した生徒の感想)

- ・学校推薦型と総合型の違いが改めてよく分かりました。また、推薦入試を受ける上での気持ちの持ち方が分かりました。大学の環境、研究したいことが自分に合うのか、ということをもう一度しっかり考え、今まで自分がしてきたことを自己分析しようと思いました。

- ・自己分析を再度行う必要があると思った。本当にやりたいこと、大学の魅力、突き詰めたいこと、社会へ貢献できるかなどもっと深く考えなければならいと分かった。また、過去の一度の経験より継続して自分が続けてきたこと、点より線が大事というのが心に残った。面接で大切なのは自分の言葉で相手に分かりやすく伝えることで、一方な発表会ではなく対話であることを理解した。言葉にするのが苦手ではあるが、説明をうまくできるように努力をしたい。

- ・総合・推薦にはどのような人が向いているのか、何をしなければならぬのか、いつまでにすればいいのか、など、私が詳しく知りたいことがたくさん学べました。3年になって、急に総合・推薦も受けれるなら受けた方がいいのではないかと、思い始め、変に悩んでいましたが、今回の話を聞いて私は一般の方が向いていると決められたので助かりました。ありがとうございました。

- ・学校推薦型で受けようと考えていましたが、改めて「他者から推薦される」ということの重みを感じました。また、その他の選択肢も考えながら広い視野を持ちたいです。

- ・総合型選抜に必要な素質や書類提出の詳しい日程がよく分かりました。改めて、覚悟を決めて臨みたいと思いました。総合型選抜では、普段の生活から入試に繋がると考えて良いと思うので、授業以外の部活やイベントにも積極的に取り組みたいです。

- ・総合型選抜で行われることや何を重視しているか、詳しく知ることができた。志望理由書をもっと良くできるように自ら調べ学習などをもっとしていきたい。将来を決めるのは自分で、合格がスタート地点だということを忘れず、やっていきたい。

・総合型選抜を受けるか迷っていて、今日のお話を聞いて私はまだ明確にやりたいことなどが決まっていなから、もう少し考えるけど一般選抜で頑張ろうかなと思った。今日聞いたお話の志望理由書や面接に関する事は、総合型選抜とか推薦の人向けのものではあるけれど、一般選抜にも共通して当てはまることが多いと感じた。総合型選抜を受けても受けなくても自分のこれまでとこれからの人生と向き合っていく必要があるので、今日のお話を聞いた様々な観点から見直してみたい。どっちを受ける選択をしても自分の頑張り次第だし、自分の責任だから、自分のこれからの人生をもう少し先までじっくり考えて目標を最終決定して、それに向かって頑張ろうと思えた。

・面接は発表会ではなく対話だという言葉が印象に残った。覚えてきたことを述べるだけでなく、聞かれた時に自分の伝えたいことを伝えて対話出来るように準備が必要だと思った。志望理由書は自分の興味だけではなく、学校についてや社会への貢献も考慮しなければならないのが難しいと思った。一般よりも早く始めなければならないため、よく考えたうえで、少しでも準備に早く取り掛かれるようにしたい。

(集会の内容(一部抜粋))



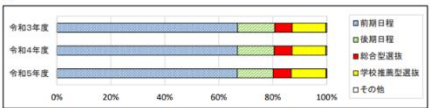
**令和5年度
総合型選抜・学校推薦型選抜集会①**

令和5年 5月19日
青森高校 進路指導部

1

1. 国公立大学の募集人員の推移

◎国立



年度	前期日程	後期日程	総合型選抜	学校推薦型選抜	その他	合計
令和3年度	65,647	18,193	8,091	11,849	317	95,097
令和4年度	63,493	17,346	8,291	11,901	319	94,901
令和5年度	62,490	17,686	8,402	12,238	250	95,047

(注) 内は募集人員に対する割合を示す

8

あなたは何故その大学を、「一般選抜」だけではなく、「総合型選抜」・「学校推薦型選抜」でも受験するのか。

16

総合型選抜・学校推薦型選抜を受験するかどうかを考えることは、自分のこれまでの「人生を整理する」きっかけになる。

17

自分は探すものではなく、「創る」もの。

これまでの高校生活でどんな自分を創ってきたか。

あなたを一番知っているのはあなた自身。自己分析をしよう。

18

「答え」を他人に求めない。

「先生」「塾」「保護者」に任せない。

「自分」で責任を負う覚悟を持つ。

19

面接は「対話」

あなたの一方的な発表会ではない。

聞き手が理解しやすいように、伝える力はあるか。そういう経験を多くの場面でできているか。友人との交流、授業のグループワークや発表、部活動など多くの機会が、学校には存在する。

20

人生はあなたのもの

だけれど、あなた一人だけで構成されているわけではない。

これまでの人生を振り返ったときに、育ててくれた人・支えてくれた人・お世話になった人に感謝しよう。

納得した受験ができるよう応援しています。高校生活をより充実したものにしてよう。

21